

岩手県釜石市 被災地派遣ボランティア報告 -ボランティア研修会-

1月30日、ボランティア連絡協議会と社協の共催によるボランティア研修会が開催されました。

研修会は、平成24年10月8～11日に岩手県釜石市へ派遣された6人の活動報告と研修参加者50名と意見交換が行われました。

報告者からは仮設住宅の集会所で出会った小学1年生が、「将来はボランティアになりたい」と話していたことに感銘を受けたエピソードなどが報告されました。

また、個人的に被災地で支援活動をされてきた参加者からも体験談が話され、参加者は真剣に耳を傾けていました。



ふれあい広場の収益 東日本大震災 被災地義援金に

11月11日に行われた「2012ふれあい広場くりやま」の収益金48,200円を東日本大震災被災地への義援金として、この度、被災地派遣ボランティアでお世話になった「三陸ひとつなぎ自然学校」に届けました。収益金はふれあい広場に出品した25店からの募金です。※「三陸ひとつなぎ自然学校」は、岩手県釜石市で、全国から訪れるボランティアコーディネーターや復興支援に尽力している団体

永杉さんは「スポーツや将棋などに挑戦して、できないことはありませんでした。皆さんもこれからのいろいろなことに挑戦してください」と話されました。体験した児童は「点字で自分の名前を永杉さんに褒めてもらって、うれしかった」と感想を話していました。



▲点字で自分の名前を!

視覚障がい・点字を学ぶ
—継小3年生9名—
1月29日、継立小学校の3年生9名は、福祉学習の一環で、講師に町内在住の視覚障がい者の永杉忠さんを招き、障がいのお話、点字トランプでゲーム、点字の体験などを行いました。

福祉学習・ボランティア活動

聴覚障がい・手話を学ぶ
—栗高2年生21名—
2月15日、栗山高校の2年生(21名)は、家庭科の選択科目「家庭看護・福祉」の授業の一環で、障がい者のコミュニケーション方法などについて学ぶ福祉学習を行いました。

講師にくりやま手話の会の猪熊友子さん、岩見沢市在住の聴覚障がい者の斉藤琴美さんを招き、聴覚障がいや手話などを学びました。小学3年から、手話を学んでいる岩崎芹香さんは、「斉藤さんに手話で質問をし、だて褒められてうれしかった」と話してありました。



▲手話で自己紹介

ペットボトルキャップ選別作業
—栗高13名、老連11名—
12月12日、栗高生13名と老人クラブ女性部11名が、ペットボトルキャップの選別作業を行いました。



▲交流しながら選別作業!

栗高生は、老人クラブ女性部の指導のもと、公共施設など町内6カ所から回収された約100kgのキャップのシールはがしや異物の選別をしました。選別されたキャップは、エコキャップ推進協会(北広島市)に届け、リサイクル処理をされた後、アフリカなどの発展途上国でポリオやBCG、はしかなどのワクチンの費用として役立てられます。

大人気 「サンタの笑顔」!

ほほえみ

あなたが
ホッとした時
足を運んで
みませんか?



まちなかケアラズカフェ「サンタの笑顔(ほほえみ)」がオープンして、3ヵ月余りがたちましたが、厳しい寒さにもかかわらず、連日多くの方が訪れ、「お話ができてすごく楽しかった」と静かな広がりを見せています。カフェは、ケアラーを含めた誰もが話をしたり、カフェを利用したり、趣味を楽しんだり自由に楽しめる「たまり場」です。ホッとした時に足を運んでみませんか?

◆営業日・時間
月～土曜日
午前9時～午後5時
※カフェは
午前10時～午後4時
◆電話:72-7889

いきいきスクール 初めての方大歓迎!

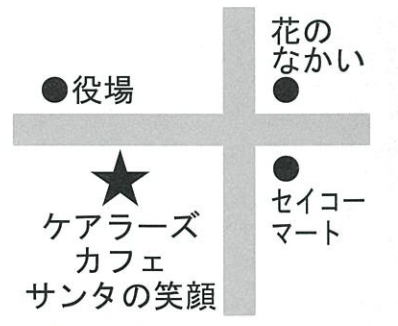
- ◆ヨガ
 - ・講師:高田 節子氏
 - ・参加料 100円
 - ・毎週火曜日 午前10時～
- ◆和風ちぎり絵
 - ・講師:前川 澄子氏
 - ・参加料 400円
 - ・毎週水曜日 午前10時～
- ◆お茶・お花
 - ・講師:伊達 桃代氏
蛇名 阿い氏
 - ・参加料 300円
 - ・毎週火曜日 午後13時30分～
- ◆占い
 - ・講師:大沼 英明氏
 - ・参加料 100円
 - ・毎週土曜日 午後12時～



カフェメニュー

・コーヒー	150円
・紅茶	150円
・ジュース	100円
・ケーキ	200円
・たい焼き	80円

ケアラーとは?
「介護」、「看病」、「療育」、「世話」、「こころや身体に不調のある家族への気づかい」など、ケアに必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人を「ケアラー」です。



ケアラーに強い応援団が! ケアラーズサポーター養成研修
1月27日から2月23日までの約6日間(全習習日数含)受講者約50名により、ケアラサポーター養成研修を実施しました。研修は、「日本女子大学家政学部の堀越栄子教授」、「砂川市立病院の内海久美子精神科部長・医師」、「介護者支援サポーターネットワークの牧野史子理事長、渡辺道代副理事長」、「茨城キリスト大学の松澤明美講師」の「北海道社会福祉協議会の中村健治福祉人材部長」の6名をお招きし、講話とケアラーの自宅訪問等による実習を行い、ケアラーを含めた家族を支える人材を養成した。受講者は、今後「サンタの笑顔」を中心とした活動を展開していくこととして計画しております。

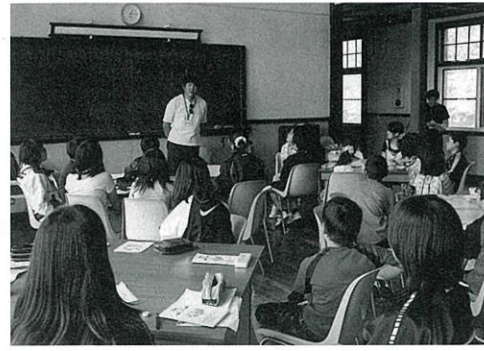
栗山町青少年育成会 会長 川畑 憲吾

栗山町青少年育成会は、地域子ども会の育成、各地区育成会との連絡を密にし、生活環境を整備改善、育成会及び子ども会の指導者育成などを通して、青少年の健全育成にあたることを目的としております。

初級リーダー研修会は、集団での活動を通して、仲間と交流を深めるとともに、リーダーとしての心構え等を学ぶ機会となりました。

全町子どもかるた大会は、かるた（百人一首）を通して、子どもの親睦を深めることができました。

子どもたちの心と身体の健やかな成長のために「赤い羽根」の寄付金を活用させていただきました。ありがとうございました。



くりやま手話の会 会長 猪熊 友子

くりやま手話の会は、耳の聞こえない人の言葉“手話”を学び、聞こえない人たちの生活や社会参加の支援をし、手話を通して多くの方々と交流をしています。

栗山在住のろうあ者も高齢化してきていますので、新得町にある聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘を視察しました。

65歳以上で身体障害者手帳を所持していると入所できる施設で、お世話をする方々は手話で話してくれ、入所されている方は手話を使って、安心して過ごせる施設に満足されていました。

このような研修を実施できたのも募金してくださった方々のご支援の賜と感謝しております。ありがとうございました。



栗山町身体障害者福祉協会 会長 吉田 輝雄

身体障害者福祉協会は、会員が自力更生相互扶助の精神を自覚し、互いに理解し協力しあって、障害者の家庭並びに社会生活を充実向上することを目的としております。

今年度は、赤い羽根共同募金会から助成をいただき、研修視察やパークゴルフ大会を開催することができ、多数の参加のもと会員の健康保持と絆を更に深めることができました。ありがとうございました。



街頭募金



▲ 継立神社祭典

▲ 栗山天満宮例大祭

▲ ふれあい広場

◆上記以外の地域福祉活動の助成先

- 青少年健全育成事業
 - ・ 栗山町スポーツ少年団本部
- 障がい者団体助成事業
 - ・ 障がい者自立支援連絡協議会
 - ・ NPO法人栗山町手をつなぐ育成会
 - ・ ことばを育てる親の会
 - ・ くりやま手話の会

●福祉団体

- ・ 老人クラブ連合会
- ・ 月見草の会
- ・ 赤十字奉仕団
- ・ 更生保護女性会
- ・ 栗山地区保護司会栗山分区
- 学校ボランティア活動普及推進事業
- ボランティア活動普及事業

皆さまからの
赤い羽根共同募金は、大切にに使わせていただきます
ありがとうメッセージ

栗山町共同募金委員会 会長 松原 由典
役員一同

栗山町青年団体協議会 会長 村上 浩之

青年団体協議会は、住み良い地域社会建設の推進や青年問題を解決し要求を実現し、夢を育てる自由的・積極的団体となること等を目的としております。

平成13年度から実施しております「出前サンタ事業」は、会員がサンタクロースになり、事前に各家庭より届いたプレゼントを持って訪問し、子どもにプレゼントを配ります。

赤い羽根の募金を活用させていただき、子どもに夢を与える事業として、今後も続けていきたいと思っております。



いのちのバトン配付事業

いのちのバトン配付事業は、高齢者、障がい者等に対し、かかりつけの医療機関、持病、緊急連絡先などの救急時に必要な情報を冷蔵庫に保管して、万一の緊急時に備えることや安心・安全にすごせる支えあいの地域づくりを目的としております。

申込みは、町内会・自治会を通していただいております。

※ 48の町内会・自治会にご協力いただいております。

(累計配付本数721本)



▲ときわ町内会

◆学校募金



▲ 栗山高校生徒会さん

▲ 継立中学校生徒会さん

▲ 栗山小学校児童会さん

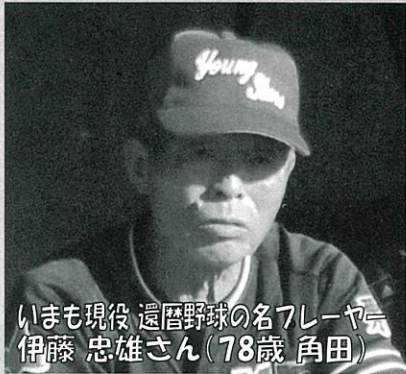
- ふれあいサロン事業
 - ・ 松栄、12区、南、松風第2、継立、山の手
- 人にやさしい愛らぶ活動事業
 - ・ 12区、中央、道栄、山の手、大井分、富士、御園、円山、滝下、阿野呂、南角田、鳩山
- 高齢者歩行補助杖給付事業

- 心配ごと相談 無料法律相談
- 花いっぱい運動推進事業
- あったかサンタの贈り物事業
- ふれあい広場開催事業
- 知って得する福祉出前講座
- 社協広報紙の発行事業
- 車両購入事業
- 共同募金会栗山分会事務経費



ただいま、青春真っ最中! 人生の挑戦者 =NO.3=

町内の様々な分野で活躍する高齢者を紹介しています。



いまでも現役 遠征野球の名プレイヤー
伊藤 忠雄さん(78歳 角田)



遠征野球は年々盛んになり、いま道内には40近くのチーム(約800人)が結成され高齢者の甲子園と言える全国大会まで開催されている。

その中で、伊藤忠雄さんは栗山ヤングスターズの代表兼内野手としていまでも現役で活躍している。

年齢を感じさせない華麗な守備に走塁、そして何よりもしぶといバッティングに定評があり、昨年の一生涯全道大会(北見市)では敢闘賞を受賞しその活躍は道内の遠征仲間目標にもなっています。

長く続けられる秘訣は「若い時と違い、いまの自分の体力を考え限界を決めてプレーすることだね」と目を輝かす伊藤さん。

春には道内最高齢のプレイヤーとして、若い世代とともにグラウンドに立ち念願の全道一を目指し練習を始めるとのこと。

いやー心もからだも若いですね!

一緒に楽しく、 調理ボランティアしてみませんか! ～ボランティア募集～

社協では、町の委託事業で、栄養に不安のある1人暮らし高齢者世帯などへ弁当を配達する配食サービスを実施しています。

現在、約70名の調理ボランティアさんが活躍中ですが、協力いただける調理ボランティアさんを募集しています。

どなたでもご参加いただけますので、興味のある方はぜひ下記までご連絡ください。

- ◆活動日 毎週水・木・金曜日(祝日休み)
午前8時半から午前10時半位まで
※1班4、5名で月1回程度
- ◆場所 総合福祉センター「しゃるる」2階調理室
- ◆申込・問い合わせ 社協(電話:72-1322)へ



ボランティアさんの調理風景

ご厚志ありがとうございます

平成24年11月21日以降 平成25年2月20日までに
お寄せいただいた方

◆金一封

長尾 康博様(富士)より 母の逝去に際して
栗山地区連合会(中野 孝幸会長)様より

社会福祉事業へ

富山 喜代美様(朝日4)より 夫の逝去に際して

吉野 了乗様(松風2)より 社会福祉事業へ

則武 和晴様(角田)より 母の逝去に際して

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

●物 品

◆北海道ココラボトリング(株)(本社:札幌市清田区
矢吹 健次代表取締役)様よりジュース30箱(774本)
を下記の社会福祉施設等へ

- ・知的しょうがい者通所授産施設ハローENJOY
- ・特別養護老人ホームくりのさと
- ・介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま
- ・養護老人ホーム泉徳苑
- ・志援 介護付有料老人ホームサンヴィレッジ栗山等
- ・クオース デイサービスセンターやまぼうし等
- ・プロケアすばる デイホーム
- ・ワークセンター栗の木
- ・ワークハウスひだまり
- ・歳末たすけあい見舞金被贈呈者(子ども同居世帯)
- ・電話サービス利用者

◆(有)白光堂楽器店(磯見 秀喜取締役社長)様より
「DVDプレーヤー」1台をいきいき交流プラザ
(サタの笑顔)の映像・音響機器備品として

平成25年3月1日発行

発行: 社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36

栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

ky_sya@mssk.gr.jp

印刷: 山東印刷株式会社



社協だよりは、赤い羽根共同募金の
助成を受け作成しています

昨年この時期、息子とソリ遊びをしていた時、デコボコ道でソリが傾き、息子はそのまま転倒。そして、次からの誘いに息子は...。けれども、最近誘ってみたくも、意外にもOKの返事! 息子は、体重が増えたことも有り、速く走って、引く張ってもソリは安定し、楽しんでいました。また、公園の雪山から1人で滑れるようになり、子どもは1人でどどん成長していると感じました。昨年このことは挽回できたかな?

編集後記